

令和4年度  
仮置場設置訓練支援事業業務

報 告 書  
要 約 版

令和5年3月  
環境省北海道地方環境事務所  
請負：アジア航測株式会社

## 【業務目的】

発災後、直ちに仮置場を設置し、適切な分別搬入を促すことは処理速度の向上や費用低減につながり、適切な運営は、渋滞や悪臭等の防止を防ぎ、周辺住民の生活環境の保全にも資する。本事業では、仮置場の設置・運営について、実際の規模等を模した訓練を実施し、図上演習では得られないスケール感や廃棄物の搬入搬出速度等を参加者に体験していただくことで、そのノウハウ習得や仮置場の設置計画策定や改訂の機会となることを目的とするものである。

## 【業務項目】

- ①勉強会の開催：1回
- ②仮置場設置訓練の開催：1回
- ③振り返り等の実施
- ④留意事項
- ⑤業務報告書（成果品）の作成

## 【仮置場設置に係る勉強会の開催】

発災前の候補地選定やレイアウト等設計、運営方法に関するもの、及び、勝手仮置場の解消など災害廃棄物処理、特に仮置場の設置に必要な事項に関する勉強会を実施した。また、勉強会へ参加できない方向けにYouTube上で勉強会動画を公開した。

○日時：令和5年2月6日（月） 13:00～14:00

○場所：オンライン開催（Microsoft Teams使用） 事務局会場：アジア航測(株)新百合ヶ丘本社

○参加者：88名



項目番号	講義内容
1	仮置場とは
2	仮置場設置の重要性 ① 住民生活の保全（悪臭防止、火災の防止）確保 ② 勝手置場や不法投棄の防止 ③ 分別の徹底による早期撤収及び低コスト化
3	仮置場内のレイアウト ① 利用者の場内滞留時間の最小化 ② 搬入・搬出が同時にできるレイアウトの採用 ③ 公費解体開始後に増える区分が拡張可能なレイアウト
4	その他 ① 事前事後の環境調査や現状復帰方法 ② 水道・仮設トイレ・詰所の設置 ③ 災害廃棄物の保管方法に関する注意事項 ④ 苦情や対処方法等の重要事項

## 【仮置場設置訓練の開催】

1haほどの広場を利用し、参加者を班分け後、災害時の仮置場でのごみの受入・分別等、仮置場の運営に係る訓練を2時間程度実施した。

- 日時: 令和5年2月14日(火)12:10~15:00
- 場所: 北海道室蘭市祝津町4 室蘭白鳥大橋並びに道の駅みたら室蘭近傍
- 参加者: 44名(自治体:28名、道庁・振興局:6名、関係団体:10名)



ごみの積み込み



仮置場での受付

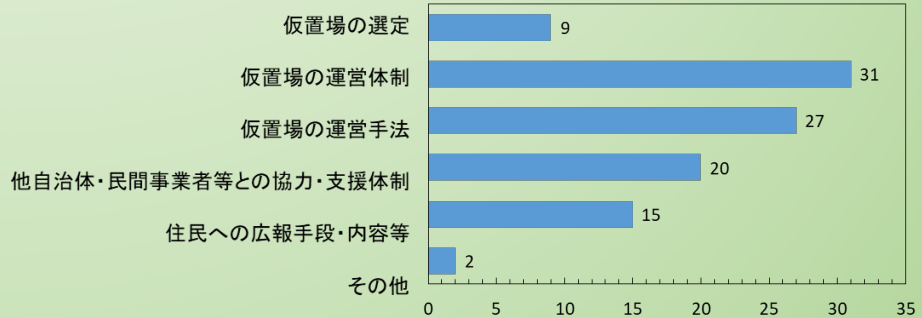


訓練後の講評

## 【振り返り等の実施】

訓練後に振り返りの時間を設け、仮置場設置から運営における良否の検討を行った。

今回の訓練に参加した結果、災害廃棄物処理計画に盛り込むべき、もしくは記載を充実すべきと感じられた項目は何ですか(複数可)。



## 【留意事項】

訓練の開催にあたり、新型コロナウイルス感染防止対策として、検温が簡易的に行えるようにスタンド型で画像認識するサーマルカメラを設置し、搬入・搬出の受付をスムーズに行えるようにした。

## 【業務報告書(成果品)の作成】

成果品を関係機関約255箇所へ送付した。また、ブロック協議会において本業務の実施成果を報告した。